

# MXレコード調査用スクリプト

## 入出力概要

- 入力：一行ドメインが記述されたテキスト
- 出力：入力ドメイン、解決ドメインの組、CSVファイル
- 文字エンコード：SJIS

## 入力ファイル詳細

- #で始まる行はコメントとみなします
- ドメインでないものが記述された場合の動作は特に規定しません
- 入力ファイルのファイル名が出力ファイルのファイル名になります

## 出力ファイル詳細

- 対象ドメイン名とMXのホスト名の組がCSVで出力されます。
- 出力ファイルはresultフォルダ下置かれます。ファイル名は入力ファイル名と同一です。
- resultsフォルダに同名ファイルがあった場合、ファイルは上書きされます。ご注意ください。
- MXレコードが確認できなかったドメインは出力されません。
- 一つのドメインに対して結果が複数行になることがあります（MXレコードはメールサーバーを複数指定できるため）

## フォルダファイル構成

- ルート
  - target：入力ファイルを置くフォルダ
  - result：結果ファイルを置くフォルダ
  - domain\_research.bat：起動用バッチ
  - domain\_research.ps1：処理本体
  - doc：このファイル含めドキュメント類を置くフォルダ

## 利用サンプル

ターゲットフォルダに入力ファイルのサンプルである「sample.txt」があります。こちらを参考に利用してください。以下のような状況に対する例があります。

- MXレコードが解決でき、複数指定されている場合
- MXレコードが存在しない場合
- コメント行